

第3期

余呂地区地域福祉活動計画

2024年度 ▶▶▶ 2028年度



結いの心で支えあうまちづくり

余呂

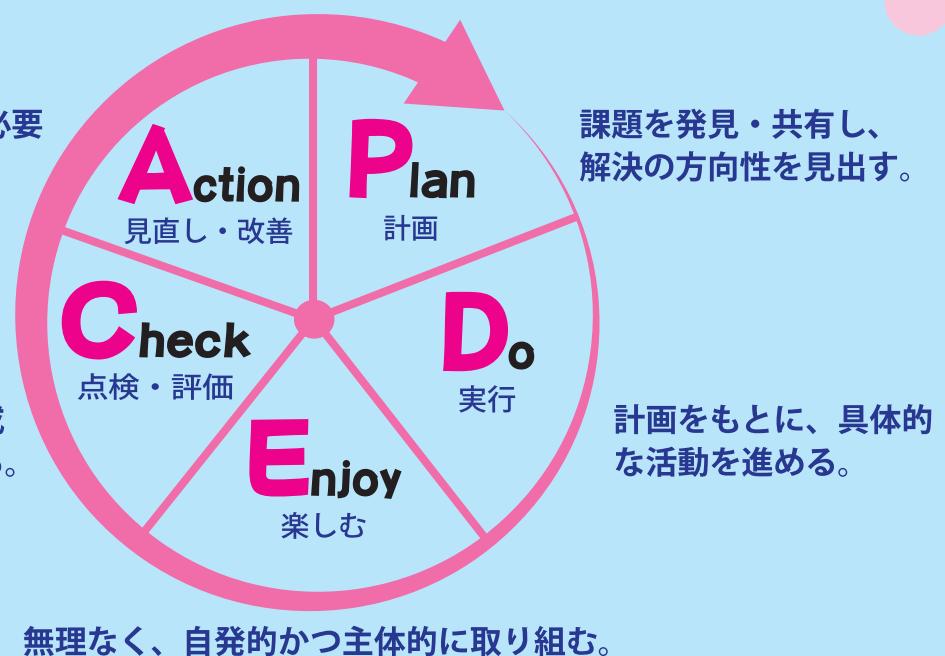
知っておきたい 地域の課題

- 高齢化が進み、高齢者が高齢者を見守る状況が増えてきた中で、いかに若者層に協力してもらえるか。
- 歩きの範囲なら参加可能という高齢者に対し、自治会館を利用した地域食堂や地域カフェなどの出前も考えていく必要がある。
- 児童生徒数が少なく、集える場所がない。会話する場所も機会も少なくなってきたので、子どもの居場所づくりが必要。
- 災害時の取り組みとして、近隣同士の情報共有が必要。気軽に相談できる・見守りができるコミュニティづくりが大切で、日頃からのつき合いが重要となる。
- 運転免許返納により、高齢者の交通手段に問題が生じている。移動販売で買い物は便利になったが、通院等に対して不便さがある。
- 空き家が増えてきた中、空き家を借用し、若者層の増加を見込み、住みやすい余呂地域にしていきたい。
- 余呂住民の健康寿命を延ばすため、一人では続けにくい体操を地域で一緒にを行い、健康意識を高める。

これまで、計画の実効性を高め、円滑で確実な推進を図るために、P D C Aサイクルに沿って進捗管理をしていましたが、今期はそこへ「Enjoy」の視点を追加し、P D E C Aサイクルに沿って、計画の目標達成に向けた進捗管理に努めます。

円滑な活動のために

評価結果を踏まえ、必要に応じて改善する。



最後に…

この活動計画の作成にあたって広く地域の人の話を聞くために、自治会役員さんや自治会の方々、地域で活躍してくださっている民生委員・児童委員さんや福祉委員さん、余呂小中学校の生徒さんや一人暮らし高齢者の方などと懇談会を開催し、参考にさせていただきました。ご協力ありがとうございました。



写真提供／東野 忠治氏

この活動計画は、余呂地区をより暮らしやすい地域にするために、住民皆さんの力で地域福祉を進めていくための目標です。

昔から地方（農村を中心に）では、春と秋の農繁期には人手が多く必要なために、親戚隣近所でお互いに農作業を助け合いながら、支え合って生活をする風習があり、地域の結がりを高め合って生活してきました。こうした風習が「結い」と云われ、余呂地域においてもこの風習が根強くありましたので、この活動計画にも「結い」という言葉を使用し、策定しました。

結いの心で支えあうまちづくり 基本目標と取り組み

こころふれあう 交流と参画

地域のさまざまな交流活動を進めるなかで、人と人とのつながりを広め、気軽に相談でき、福祉のこころを育み、人材の育成や気楽に話せるふれあい活動への参画の場を広げます。

また、地域の課題発見力と居場所の課題解決力の連携も行います。

こころかよわす 居場所づくり

世代・環境を超えて、誰もが気楽に参加できる交流の居場所づくりをめざし、健康維持・増進の効果を期待し、地域住民同士のつながりを深める居場所を作り、人ととの出会いを大切にします。

サロンの居場所は孤立を防ぎ、健康維持につながり、子どもから高齢者まで参加することで地域住民とのつながりに取り組みます。

こころ温まる 見守りと災害支援

余呂地域住民が一体となり、地域全体で支え合う仕組みを構築し、地域課題の解決力の強化、地域での見守りネットワークの充実、災害時の要支援者の把握と支援体制の整備を行い、自治会全体の意識向上を図ります。

自然災害などいつ何があっても、住民同士が助け合い、協力することで命を守り災害時に対応するネットワーク作りに取り組みます。

- 健康クラブの立ち上げ・仲間づくり
- 出前カフェの開催
- 料理教室の開催
- 生涯学習講座開催
- 暮らしの支えあい検討会の開催



- 地域のサロン活動支援
- ほっこり茶屋の運営参画
- ほっこりキッズ支援
- 子ども学び座の支援



- 命のバトン
避難支援見守り支えあい制度の推進
- 雪かき道場の開催
- 防災避難対策事業（マップの推進）
- 人権研修
- 見守り・一聲ふれあい運動

こころつなぐ 生活支援

高齢化率が高く免許を返納される方が多いなか、買い物や病院通いの手段が無い余呂地域では、住民同士のお互いに支えあう活動に力を入れて取り組みます。

- 元気かい活動支援
- 移動店舗「あったか便」の支援



こころ寄り添う 地域共生

余呂住民や地域の多様な主体が、いろいろな分野や属性の壁を越えてつながり、生きづらい思いを抱えている人への配慮や、いざという時に誰ひとり残さない安心のまちを目指して、おたがい今までつなぐ活動に取り組みます。

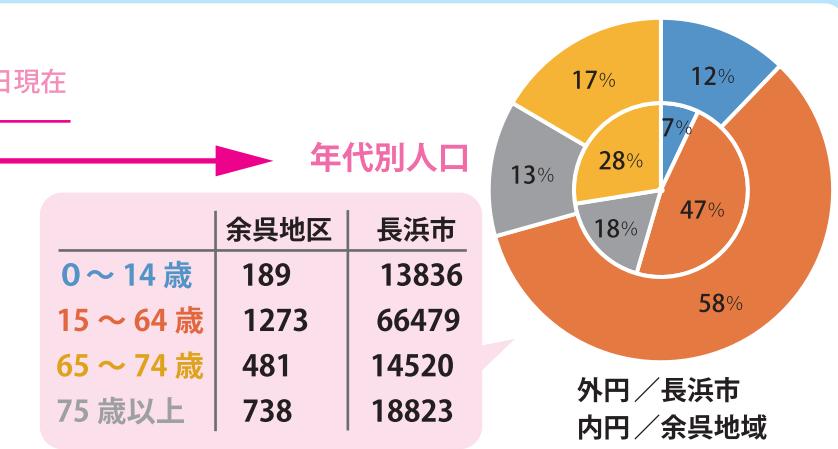
- 世代間交流食堂の開催
- さわやか老人のつどいの開催
- しょうがい児・者への交流会の支援



こころ育む 仕組みづくり

地域で尊厳をもって、自立した日常生活を送ることができるよう福祉活動に積極的に参加する中で、さまざまなネットワークを構築し協働活動に取り組みます。さらに福祉活動団体の基盤を強化します。

- サロンボランティア研修会の開催
- 余呂小中学校の地域福祉活動の推進
- サークル活動・団体の支援
- 広報の発行



- 人口 2681 人（長浜市 113658 人）
- 世帯数 1171 世帯（長浜市 47626 世帯）
- 高齢化率 45.47 %（長浜市 29.34%）
- 介護認定率 22.31 %（長浜市 19.95%）